

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 社会福祉士ネットワーク・ヒューマンレインボー
所在地	船橋市本町5丁目15-15
評価実施期間	平成20年10月6日～平成21年2月28日

2 評価対象事業者

名 称	我孫子市立緑保育園	種別： 保育所
代表者氏名	園長 杉本 京子	定員（利用者人数）： 149名
所在地	我孫子市緑1-6-2	TEL 04-7182-1059

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

<p>特に評価の高い点</p> <ul style="list-style-type: none">・今年度から我孫子市における公設民営の第1号保育園としてスタートしています。園長以下全職員が公設の保育サービスの利点と、民間事業者への運営委託によるさらに一歩進んだサービスの向上を目指し真摯に努力をしている姿が評価できます。・適切な保育サービスを実施するために民営化移行に際しては、1年間の引継ぎ保育を設け周到に移行準備が実施されたことが利用者の安心感を醸成し、アンケート結果にも顕れている高評価に結びついたと考えられます。・民営化移行における具体的メリットとして昨春から“夜間延長保育”が新たに行われました。勤労形態の多様化による保護者ニーズへの柔軟な対応が、サービス提供者においても無理なくうまく機能できていると思われます。・園長は、日常的に園内を巡回し、子どもの様子、保育の内容、職員の状況など現状を常に把握し、保育内容や子どもの対応への適切なアドバイスを行っています。園の民営化移行に際し我孫子市に設置されていた受託事業者選考委員会の一員でもあり、民営化移行への経緯を熟知している園長のリーダーシップが安定した施設運営に活かされていると考えられます。・子どもの発達や育児について保護者との共通理解を得るため随時保育参加を受け、試食会及び保育参観や運動会の機会を捉え理解を深める努力がされています。また、保護者会でも利用者満足に関するアンケートを取り、その結果を園にフィードバックして利用者満足の向上に役立っています。 <p>特に改善を求められる点</p> <ul style="list-style-type: none">・当保育園は駅から近いという利便性を持っている反面、園庭はやや狭隘です。子どもの活動の場として、手賀沼などの水辺環境や周辺の恵まれた自然環境を生かし散歩等を取り入れるなど工夫が凝らされています。しかしながら、我孫子市の理念である“待機児童0”の方針ともあいまって受容れ可能な児童数一杯を保育している現状から、運動会などの行事開催には園庭が狭いという印象が拭えません。アンケート調査においても、唯一園舎・園庭についての満足度が50%を下回っており園庭の狭隘と老朽化している園舎への不満が潜在しています。将来、長期計画の中でこうした課題を含んで検討されることを期待します。
--

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

第三者評価を受審することにより、全職員が一体となり保育の一からを真摯に見直しできたことが、最大の成果と考えております。日常的な業務に関しては、なかなか振り返ることも難しく、その手法やルールが持っている本来の意味等を見つめ直すことにより、職員のスキルだけでなく、仕事に対する心構えも向上することができたように感じております。

これからも、体系化した研修や勉強会、さらにはオンジョブトレーニング等をより積極的に取り入れることにより、さらなる職員の質の向上と意欲の高揚を図り、より満足度の高い保育園にすべく運営を続けたいと考えております。

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

社会福祉法人聖華は、「豊かな情操」「丈夫な体」「広い社会性」「確かな基礎能力」という保育目標を掲げ、養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成することを保育理念とし、各園の運営を行っております。

緑保育園においては、一年間の引継ぎ保育期間を経て本年度から我孫子市より受託業者として運営を行わせていただいております。歴史ある緑保育園の保育の良さを確実に継承修得することにより、緑保育園の保育の基礎をしっかりと固め、この基礎の上に養護と教育とが一体となった保育を展開して行きたいと考えております。

社会福祉法人聖華は運営する各園がそれぞれの地域においてより満足度の高い園となること、またそのために遅滞なく研鑽を積める職員の育成を目指しております。

今後、一層多様化するであろう保育ニーズを、全職員が積極的な向上心を持ちながら精励していける法人として、運営を行ってまいります。

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

6 分野別特記事項

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
福祉サービスの基本方針と組織	<ul style="list-style-type: none"> ・『我孫子市子ども総合計画』中で位置づけられている“子どもたちの人間としての尊厳を守り、地域社会のすべての人が力をあわせ、自立する子どもの育ちを支援する”という理念に基づき、我孫子市における公立保育園の共通基本理念・基本方針が策定されており「入園のしおり」に明文化されています。そこでは、利用者本人を尊重した保育の考え方や目指す方向を明確に示しています。 ・さらに園では「明るく 素直で 心身ともに健康な子ども」を保育目標に掲げ、恵まれた自然環境を活用した遊びが重視され、心をそだてる教材として日本の伝統行事を行事に取り入れるなど、身近な自然や社会とのかかわりが尊重されています。
組織の運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・法人は千葉県内他市での複数の保育園経営の実績を持ち、さらに東京都内において公立保育園の民営化への委託実績があります。いずれの保育園においても幼児教育を取り入れた、幼稚園に近い形の保育園との評価が定着してきています。 ・「豊かな情操」「丈夫な体」「広い社会性」「確かな基礎能力」の四つの柱からなる保育目標を掲げ、養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成することを保育理念としています。 ・園長のリーダーシップの下、保育士・栄養士・看護師が連携をとり愛情豊かに一人ひとりの園児と向き合って保育にのぞむ姿勢が評価されます。
適切な福祉サービスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・我孫子市と委託先の保育理念や基本方針の一体化を図ることで、遊びを通して心身の様々な効力の発揮、向上を目指す努力が行われています。 ・公営保育園から1年間の引継ぎ保育を経ての民営化であり、保護者の動揺や子ども達への影響は見られません。また、園長や6名の職員が引き継がれていることが子どもや保護者の安心感に結びついているものと思われます。 ・保護者の就労支援と子育てに対する意向は尊重され大切に扱われており、保護者の家庭状況も十分に把握され、困難な状況の場合には、園長自らがしっかり対応しています。 ・サービスの質の向上への取り組みが継続して実施されています。個々の子どもに適切な対応をしていくためには職員全体での共通認識が必要との理解から、クラス別会議を通じて話し合いが持たれサービスの質の確保が図られています。 ・保護者とのコミュニケーションは日々の連絡帳によって、また行事参加を通じて実施されています。家庭状況や保護者との情報交換は必要に応じ「児童票」に適切に記録されています。

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
サービスの内容	<p>・環境に恵まれており、散歩に出たり、近くの公園に遊びに行ったりして子どもの生活の幅を広げる取り組みがなされています。安全対策には十分配慮されており、一例として散歩時の事故防止のために、目的地の公園の遊具の事前点検、あるいは水筒・防犯ベル・携帯電話を持参し安全確保に努めることが励行されています。</p> <p>・園長が中心となり、各年齢に見合った保育計画の作成に努力されています。例えば、年長児になった時点で遠距離の散歩を実施し、子ども自身が成長の喜びを実感できるような取り組みや、レクリエーション研修を自主的に受講し太鼓の指導者資格を持った職員による子どもたちの太鼓指導など特徴ある保育がなされています。</p> <p>・頻繁にミーティングが開催され、園やクラスの現状、連絡事項が話し合われ保育サービスの課題が全体で共有され、何かあると職員が自発的に集まり、緊密に話し合い問題を解決していくという手法が定着しています。</p>

福祉サービス第三者評価共通項目（施設系）の評価結果					評価結果	
大項目	中項目	小項目	項目			
福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念・基本方針の確立	1	理念が明文化されている。	A	
			2	理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	
		(2) 理念・基本方針の周知	3	理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	A	
			4	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	
	2 計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンの明確化	5	中・長期計画を踏まえた事業計画が作成されている。	A	
			6	事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	A	
			7	施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	A	
	3 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者のリーダーシップ	8	質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	A	
			9	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	
組織の運営管理	1 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等への対応	10	事業経営を取り巻く環境が的確に把握されている。	A	
			11	経営状況を分析して、改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	A	
	2 人材の確保・養成	(1) 人事管理体制の整備	12	施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	A	
			13	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行っている。	A	
			14	職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	A	
		(2) 職員の就業への配慮	15	事業所の就業関係の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	A	
			16	福利厚生に積極的に取り組んでいる。	A	
			(3) 職員の質の向上への体制整備	17	職員の教育・研修に関する基本方針が明示されている。	A
	18	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		A		
	19	実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている		A		
	3 安全管理	(1) 利用者の安全確保	20	緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	
			21	利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	A	
			4 地域との交流と連携	(1) 地域との適切な関係	22	地域との交流・連携を図っている。
	23	利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用している。			A	
	24	事業所が有する機能を地域に還元している。			A	
	25	関係機関等との連携が適切に行なわれている。			A	
	(2) 地域福祉の向上	26		地域の福祉ニーズを把握している。	B	
		27		地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	B	
	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者尊重の明示	28	施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	A
				29	プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	A
			(2) 利用者満足の向上	30	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	A
31				利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている	A	
(3) 利用者意見の表明			32	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある	A	
			33	寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	A	
		34	利用者からの意見等に対して迅速に対応している	A		
2 サービスの質の確保		(1) サービスの質の向上への取り組み	35	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	
			36	課題発見のための組織的な取り組みをしている。	A	
			37	常に改善すべき課題に取り組んでいる。	A	
		(2) サービスの標準化	38	職員の対応について、マニュアル等を作成している。	A	
			39	日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	A	
(3) 実施サービスの記録		40	利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	A		
		41	利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	A		
3 サービスの開始・継続		(1) サービス提供の適切な開始	42	施設利用に関する問合せや見学に対応している。	A	
			43	サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。	A	
4 サービス実施計画の策定		(1) 利用者へのアセスメント	44	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	
	(2) 個別支援計画の策定		45	一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	A	
		46	個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	A		
	(3) 情報の管理	47	個人情報保護に関する規定を公表している。	A		

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 我孫子市立緑保育園

評価基準		評点	コメント
福祉サービスの基本方針と組織	項目 番号		
- 1 理念・基本方針			
- 1 - (1) 理念、基本方針が確立されている。			
- 1 - (1) - 理念が明文化されている。	1	A	我孫子市の公立保育園の共通基本理念・目標等が策定されており「入園のしおり」に明文化されています。“子どもたちの人間としての尊厳を守り、地域社会のすべての人が力をあわせ、自立する子どもの育ちを支援する”とし、利用者本人を尊重した保育の考え方や目指す方向が明確に示されています。
- 1 - (1) - 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	A	基本理念と同様に基本方針も「入園のしおり」等に明文化されています。さらに法人独自の保育目標を持ち「丈夫な体」「広い社会性」「豊かな情操」「確かな基礎能力」を四つの柱として明示し、職員の誰もが実際の行動を取りやすいものとしています。
- 1 - (2) 理念、基本方針が周知されている。			
- 1 - (2) - 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	A	園の理念や保育目標は掲示され、「入園のしおり」は全職員に配布されています。これらは職員会議の場で繰り返し説明され、確認が取られています。
- 1 - (2) - 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	A	「入園のしおり」は入園の際に全世帯に配布され、理解が得られています。なお、我孫子市では『我孫子市子ども総合計画』を策定し、次世代育成支援対策を推進していることが特筆されます。
- 2 計画の策定			
- 2 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
- 2 - (1) - 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	A	中・長期計画については『我孫子市子ども総合計画』として我孫子市が策定しています。園ではこの計画に基づき運営を行っています。
- 2 - (2) 重要課題の明確化			
- 2 - (2) - 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	A	我孫子市の定めた事業計画達成のために重要課題が明確化されています。
- 2 - (3) 計画が適切に策定されている。			
- 2 - (3) - 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが協議する仕組みがある。	7	A	事業計画については、市内の公立保育園7園がそれぞれ作成した事業計画を市が集約する仕組みになっています。その他の課題等については、平成20年度は委託初年度に当たり予め市によって定められたものを継承しています。次年度以降は、職員等が参画し協議によって立案された案を園の幹部職員を通して我孫子市に伝達し、市との協議によって決定される体制になっています。

評価基準		評点	コメント
- 3 管理者の責任とリーダーシップ			
- 3 - (1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
- 3 - (1) - 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	A	園長は日常的に園内を巡回し、子どもの様子、保育の内容、職員の状況など現状を常に把握し保育内容や子どもの対応への適切なアドバイスを行っています。 朝礼を毎日行い、保育技術の見直しや技術の提案をその都度行っています。また、毎月第3水曜日に実施している職員会議において、保育サービスの質の向上について随時テーマを設定し、具体的な取り組みを明示し日常の保育に反映しています。
- 3 - (1) - 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	A	人事管理や財務運営、労務管理については事務長が規定に基づき管理を行っています。 園長は職員の意見を聞き、職員の働きやすい環境整備を進めています。
組織の運営管理			
- 1 経営状況の把握			
- 1 - (1) 経営環境の変化等への対応			
- 1 - (1) - 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	A	事業運営に関わる動向については、法人が関係している他の地方公共団体での動向をも踏まえつつ、我孫子市の指導のもとに我孫子市における事業環境を把握しています。
- 1 - (1) - 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	A	経営状況については事務長が管理し、経理係数を月次で把握するとともに、個別の事業についても月次で利用状況や職員の勤務状況を把握し、コスト確認等を実施しています。
- 2 人材の確保・養成			
- 2 - (1) 人事管理の体制が整備されている。			
- 3 - (1) - 施設の全職員が守るべき倫理を明文化している	12	A	全国保育士会倫理綱領が採用されています。 また、就業規則は整備されており、新任時に丁寧に研修が実施され周知が徹底されています。
- 2 - (1) - 人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的にやっている。	13	A	平成20年度は市からの運営委託初年度のため本部にて採用を行いました。次年度からの人事方針については園独自の退職希望動向の把握等を踏まえ、園が採用計画を立て採用を行っています。 人材育成については面接を行い各人の意向を確認し、進級時の異動配置の判断材料として参考にしています。 理事長面接が年1回、園長面接が年2回実施されています。
- 2 - (1) - 職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	14	A	自己評価の制度を設け、評価基準を明確化し公正な職員処遇が図られています。客観的な基準に基づき定期的に年2回の評価が実施されています。
- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
- 2 - (2) - 事業所の改善課題について、スタッフ(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	15	A	利用者、保育園及び我孫子市の3者で開催する運営協議会において、利用者等から出される改善課題を都度共有している特徴があります。また、園内においては随時開催される打合せ等の会議において職員が意見を具申できる体制がとられています。

評価基準		評点	コメント
- 2 - (2) - 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。		16	A 法人においては福利厚生施策のメニュー充実が意識されています。歯科治療の優遇、インフルエンザ予防接種の廉価提供などが職員に利用されています。
- 2 - (3) 職員の質の向上への体制整備			
- 2 - (3) - 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。		17	A 公立保育園の職員研修体制と同等の研修参加機会が提供されています。園が目指す保育サービスを実施するために、積極的に資格取得の支援を行い各職員の経験に合わせた専門性のレベルが目標化されています。
- 2 - (3) - 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		18	A 各年齢担当が年齢に応じた保育計画を立て、実施できているかをモニタリングしています。毎月の職員会議では、各職員が参加した研修報告を共有化し、保育内容に反映しています。
- 2 - (3) - 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		19	A 現在は、我孫子市が公立保育園への実習生を一括して受入れています。その一環とし実習生受入れを実施しています。オリエンテーションを行い実習心得を指導し、実習プログラムを提供しています。
- 3 安全管理			
- 3 - (1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
- 3 - (1) - 緊急時(事故、災害、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。		20	A それぞれのリスクごとにマニュアルがあり、避難訓練は毎月実施し、年1回消防署の協力により総合避難訓練を実施しています。
- 3 - (1) - 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。		21	A 遊具の安全点検、防犯や防災、また散歩記録や目的地の安全確保などチェックリストを活用して行われています。チェックリストは管理者により確認され、評価・見直しが行われています。 なお、散歩時の引率職員数に安全配慮があり、非常通報手段についても笛と防犯ベルの2種類を用意するなど安全確保に対する意識は高いものと感じられます。

評価基準		評点	コメント
- 4 地域との交流と連携			
- 4 - (1) 地域との関係が適切に確保されている。			
- 4 - (1) - 地域との交流・連携を図っている。	22	A	「園だより」を町内会回覧板に掲示し運動会などの行事に住民の参加を促したり、園庭開放などの子育て事業計画に基づいた地域との連携を実施しています。隣地の神社境内で近隣の高齢者とのふれあい、散歩時の地域とのコミュニケーションなど地域との交流が意識されています。
- 4 - (1) - 利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用することを支援している。	23	A	散歩の機会が多く、公園や近隣施設がよく利用されています。保護者に対しても社会資源の案内が行われています。
- 4 - (1) - 事業所が有する機能を地域に還元している。	24	A	毎週水曜日に行われている園庭開放(育児相談)、園内見学など公立保育園としての子育て事業が実施されています。
- 4 - (1) - 関係機関との連携を図っている。	25	A	子どもの発達に関係することについては我孫子市のシステムと連携し対応しています。
- 4 - (2) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
- 4 - (2) - 地域の福祉ニーズを把握している。	26	B	町内会長との連携を密にして、地域住民の具体的な福祉ニーズの把握に努めています。しかしながら、地域の福祉ニーズは何か、ニーズ把握のための取り組み、還元方法などについて園としての組織的な取組みにまではいたっていません。保育園の持つ専門的な知識・技能に対して期待される地域のニーズを一層把握していただきたいと考えます。
- 4 - (2) - 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	27	B	園庭開放による子育て支援事業が行われていますが、“子育て支援センター”については近隣に別途他機関が設置されており、この面でのニーズはそちらで充足されています。子どもたちと地域との交流は日常の散歩の途上、あるいは隣地に所在する神社に訪れる高齢者とのふれあいの中で実践され、子どもたちの思いやりのある心を育てています。

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 我孫子市立緑保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
適切な福祉サービスの実施			
- 1 利用者本位の福祉サービス			
- 1 - (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
- 1 - (1) - 施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	28	A	プライバシーの保護および個人情報保護に関する研修は公立保育園としての共通研修を受講しています。また、守秘義務の重要性については機会あるごとに職員会議で伝達されています。 実習生に対してもオリエンテーションにおいてプライバシー保護の必要性が周知されています。
- 1 - (1) - プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	29	A	月次の職員会議の場において繰り返し、利用者尊重の基本がプライバシーの保護であることが確認されています。
- 1 - (2) 利用者満足の向上に務めている。			
- 1 - (2) - 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	30	A	定期的実施している保育参観、個人面談などの機会を捉え個々の満足度を把握しています。また保護者の行ったアンケートが実施され、その結果は満足度向上に確実にフィードバックされています。
- 1 - (2) - 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	31	A	上記保護者のアンケート調査以外にも度重なるアンケート調査が行われていることが特徴です。「園だより」「クラスだより」を通じてアンケート結果が保護者に伝達され、具体的な保育サービスの改善が図られています。
- 1 - (3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
- 1 - (3) - 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	32	A	送迎時などの機会を捉え園長はじめ職員の皆さんによる声掛けが行われ、意見、提案を伝えやすい環境が準備されています。「連絡帳」も園への意見申し出でのツールとして活用されています。
- 1 - (3) - 寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	33	A	苦情や意見に対する初期対応は園長によって的確に対応されています。さらに、我孫子市の持っている「保健福祉サービス調整委員制度」によって補完される仕組みになっています。
- 1 - (3) - 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	34	A	アンケート実施における共通の質問項目には「園だより」を活用して回答説明が行われています。また、同様の内容は掲示によっても公表されます。しかしながら一部の保護者からは意見に対する回答がないとか、遅いという不満も見受けられます。園としては、フルタイム・フルアクセスがモットーとされており、意見や提案のあった保護者には、検討に時間がかかる場合にも状況を速やかに報告することが励行されています。

評価基準		評点	コメント
- 2 サービスの質の確保			
- 2 - (1) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に行われている。			
- 2 - (1) - サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	35	A	定期的に理事長とは年1回、園長とは年2回に個別面談が行われ、職員個々の改善提案をヒアリングする機会ともなっています。職員全員の自己評価が園全体で実施され、園の保育に反映する仕組みがあります。
- 2 - (1) - 課題発見のための組織的な取り組みをしている。	36	A	アンケート結果の分析やその結果に基づく課題発見のための取り組みは職員会議で行われています。議論した内容やそこから導かれた課題は記録され共有されています。
- 2 - (1) - 常に改善すべき課題に取り組んでいる。	37	A	評価結果によって明らかになった課題については、園長および事務長を中心に職員が参画し改善策や改善計画を策定する仕組みがあります。
- 2 - (2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
- 2 - (2) - 職員の対応について、マニュアル等を作成している。	38	A	個々の保育場面にについて標準的な方法が文章化され、それに基づいたサービスが実施されています。法人の持つ“保育目標”の4つの柱がこれに当たります。個々のサービスに関しマニュアルは完備されています。
- 2 - (2) - 日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	39	A	民営化移行を確実に成功させるために順を追ったサービス改善、法人としての特色発揮を目指したいとしています。今年度においては、移行初年度であり従来の保育方針を踏襲することを第一義として運営されています。マニュアルの見直しも行われています。
- 2 - (3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
- 2 - (3) - 利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	40	A	健康カードにより成長発達が記録され、連絡ノートによって毎日の健康管理が記録されています。
- 2 - (3) - 利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	41	A	園児の健康状態を伝えるために連絡カードが活用され、口頭での職員間の伝達も励行されています。
- 3 サービスの開始・継続			
- 3 - (1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
- 3 - (1) - 施設利用に関する問合せや見学に対応している。	42	A	見学希望者には日程を調整し個別に対応しています。保育時間帯ごとにどのようなことをしているのかを説明し、納得が得られるよう丁寧な案内が行われています。
- 3 - (1) - サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	43	A	従来は、保育内容や料金など重要事項の説明は市の担当課が行ってききました。今年度から「入園のしおり」を配布し本園が行い保護者の同意が得られています。
- 4 サービス実施計画の策定			
- 4 - (1) 利用者のアセスメントが行われている。			
- 4 - (1) - 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	44	A	クラス会議が毎月定期的開催され、個別対応の必要な子どもについてはクラス担当が相談指導を行っています。

評価基準		評点	コメント
- 4 - (2) 個別支援計画の策定			
- 4 - (2) - 一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	45	A	3歳未満児に対しては個別計画が立てられます。3歳以上児においては障害児のみ個別支援となっており、他の子どもたちに対してはクラス別の保育指導計画が立てられています。クラス担当が計画を立て主任、園長が順次チェックを行います。
- 4 - (2) - 個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	46	A	未満児については支援計画のモニタリングが行われ、子どもの成長の姿、課題を踏まえ計画の見直しが実施されています。以上児については計画の評価が職員会議で議論され、課題等を踏まえ次年度の計画策定に反映されます。
- 4 - (3) 情報の管理			
- 4 - (3) - 個人情報保護に関する規程を公表している。	47	A	個人情報保護に関する規程を持ち、掲示されています。

福祉サービス第三者評価項目（保育所）の評価結果					評価結果
大項目	中項目	小項目		項目	
保育所	1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	1	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	A
			2	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	A
			3	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	A
		(2) 健康管理・食事	4	健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
			5	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	A
			6	食事を楽しむことができる工夫をしている。	A
			7	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	A
			8	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	A
			9	アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	A
		(3) 保育環境	10	子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	A
			11	生活の場に相応しい環境とする取組みを行っている。	A
		(4) 保育内容	12	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	A
			13	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	A
			14	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	A
			15	身近な自然や社会と関われるような取組みがなされている。	A
			16	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	A
			17	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	A
			18	性差への先入観念による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	A
			19	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A
			20	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A
			21	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A
	2 子育て支援	(1) 入所児童の保護者の育児支援	22	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	A
			23	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A
			24	こどもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	A
			25	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	A
			26	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	A
			(2) 一時保育	27	行っていない

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 我孫子市立緑保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
保育所			
- 1 子どもの発達援助			
- 1 - (1) 発達援助の基本			
- 1 - (1) - 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	1	A	アンケート調査を行うことで親や子供の状況把握が出来ており、保育計画につなげています。
- 1 - (1) - 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	2	A	年齢別のお話し合いを行う事により、保育計画の見直しを行っています。
- 1 - (2) 健康管理・食事			
- 1 - (2) - 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	3	A	登園時の園児の体調確認を園全体で行っています。また、体調の変化や怪我に関しては保護者にしっかり伝える事に努力しています。
- 1 - (2) - 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	4	A	健康診断の結果については保護者や職員に伝達し、児童表や個別の健康カードに記入されています。
- 1 - (2) - 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	5	A	感染症発生に関する職員の研修を行い、発生時においては掲示板等を通し保護者に伝達しています。
- 1 - (2) - 食事を楽しむことができる工夫をしている。	6	A	野菜の栽培を行ったり、行事食を取り入れたりの配慮がなされています。同時に給食職員が食事の様子を見るように努めています。
- 1 - (2) - 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	7	A	保育士および調理職員が喫食状況を観察することで献立の作成・調理が工夫されています。
- 1 - (2) - 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	8	A	毎月の給食便りでレシピの紹介等を行うことで、食生活を充実させていけるよう保護者と連携していく努力をしています。
- 1 - (2) - アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	9	A	入園時にアレルギー調査を実施し、医師の指示書に従い、対象児には配膳時にはネームプレートで確認し他対応しています。

評価基準		評点	コメント
- 1 - (3) 保育環境			
- 1 - (3) - 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	10	A	月1回の遊具点検・砂場の消毒、月1回のふとん乾燥等を行うことで快適性への配慮がされています。散歩の際には事前に公園先の遊具の点検等を行っています。
- 1 - (3) - 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	11	A	自然に恵まれた環境を生かした保育計画を立て、遊ぶ楽しさを体験できるための配慮がされています。
- 1 - (4) 保育内容			
- 1 - (4) - 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	12	A	クラス担当も含め、職員みんなで努力しており、園長が率先して園児一人ひとりの把握に努めています。
- 1 - (4) - 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	13	A	会議等を通し、園全体で統一された指導が行えるような配慮がなされています。
- 1 - (4) - 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	14	A	子どもの発想を取り入れる保育計画を作成し、好きな遊びが楽しめる環境がつけられています。
- 1 - (4) - 身近な自然や社会とかがわれるような取り組みがなされている。	15	A	散歩を通し、子どもたちに交通ルールや近隣の人に挨拶をすることの大切さを知らせる努力がはられています。
- 1 - (4) - 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	16	A	異年齢との関わりが経験できる縦割り保育を行うことで、思いやりの気持を育てています。
- 1 - (4) - 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	17	A	具体的取り組みとして、他国児の保護者からの文化の違いを紹介してもらい、互いに文化の違いを共有し尊重する機会が設けられています。
- 1 - (4) - 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	18	A	都度開催される会議等を通し、園全体で統一された指導が行えるような配慮がなされています。
- 1 - (4) - 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	19	A	保育室において、一人ひとりの生活サイクルに合わせた保育が出来るように配慮されています。

評価基準		評点	コメント
- 1 - (4) - 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	20	A	軽食や夕食を提供し、同時に異年齢との関わりも大切にされています。
- 1 - (4) - 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	21	A	障がい児加配の職員を配置し、市の専門機関との連携を緊密に行い園全体の共通理解を持てるような努力がはらわれています。
- 2 子育て支援			
- 2 - (1) 入所児童の保護者の育児支援			
- 2 - (1) - 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	22	A	全園児に対し、クラス担任が個別懇談を実施し、児童票が作成され、担任・園長が個々の育児ニーズを把握しています。
- 2 - (1) - 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	23	A	家庭での状況や必要事項の情報交換は、連絡帳や時間外ノートを通し随時記録されています。
- 2 - (1) - 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	24	A	随時の保育参加、アンケート、保護者会やクラス懇談会の場で保護者との共通理解を得るような配慮が繰り返されています。
- 2 - (1) - 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	25	A	職員間で事実確認し、支援の必要があると思われる場合には、行政のマニュアルに従い連絡調整ができる体制になっています。
- 2 - (1) - 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	26	A	行政の対応マニュアルに基づき、関連機関との連携が取れるように体制整備がされています。
- 2 - (2) 一時保育			
- 2 - (2) - 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	27		一時保育は現在行われていません。